

来園者による給餌体験の一例

高橋文彦¹ 賀曾利亜紀¹ 古田洋¹

小林智男¹ 大滝侑介¹ 田島俊一郎²

(¹横浜市立よこはま動物園 ²横浜市立金沢動物園)

横浜市立よこはま動物園では、毎日「とっておきタイム」という飼育員によるガイドを行っている。今回新たな取り組みとして、来園者による給餌体験を実施した。給餌体験を通じ、とっておきタイムへの能動的な参加を促し、動物を身近に感じてもらうことで動物への興味・関心や理解を深めることを目的とした。

この2年間で実施した動物種は、2007年12月から翌2008年3月までの間にスマトラトラ、インドライオン、ミナミアフリカオットセイ、アカカワイノシシの4種、2009年2月にインドゾウ、同年3月にアカカワイノシシであった。アカカワイノシシ展示場は2007年4月にオープンし、ビューイングシェルターには、来園者が給餌することができる設備があるため、これを活用した。各動物種の給餌方法ならびに、給餌用設備を活用したアカカワイノシシの給餌体験における詳細を報告する。